



TITLE:

和歌山県新宮市で釣られた越年アユ

AUTHOR(S):

川野, 進; 久保田, 信

CITATION:

川野, 進 ...[et al]. 和歌山県新宮市で釣られた越年アユ. くろしお 2011, 30: 32-32

ISSUE DATE:

2011

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188231>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

くろしお, (30): 32, 2011

和歌山県新宮市で釣られた越年アユ

Biennial ayu fished from Shingu City, Wakayama Prefecture, Japan

川野 進*・久保田 信**

川野はアユ釣歴60年のベテランで、和歌山県新宮市の高田川でこの12年、毎年多数のアユを釣っている。2011年6月1日のアユ釣り解禁後、6月20日朝に、生涯で初めて「越年アユ」を餌で釣り上げたので報告する。腹部にグレーの線があり、卵を持つと推定されるこの雌個体の標準体長は、約16 cm だった(図1)。この雌アユは、頭部が普通のアユの約2倍あり、目が大きく、艶がない特徴から天然の越冬個体と推察した。通常、一年しか生きないアユが越年したのはたいへん珍しい現象である。人間でいえば100才を超えていると推察される。

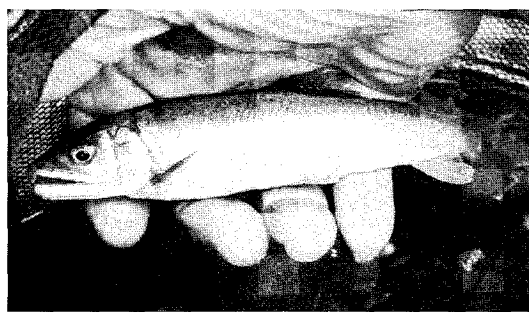


図1 和歌山県で釣られた越年アユ(雌)

* (〒647-1101 新宮市高田580)

**京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所

(〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)